

科目名 (英)	美容実習 I (バックシャンプー&サロンワーク) (beauty practice I)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	富武 美奈子
学科・コース	トップスタイリスト科	授業 形態	実習	総時間 (単位)	60 (2)	開講区分	前期
						曜日・時間	水曜 3.4限
【授業の学習内容と心構え】 大手美容室でチーフとして店舗運営、後輩の教育に携わりアイリストの技術習得。 トータル美容を提供出来る現役美容師であると共に看護師の資格所有者でもある。 サロンで求められる技術、接客を教えていきます。楽しみながら学んでください。							
【到達目標】 バックシャンプー技術を習得する アシスタント力を身につける サロンワークに於ける接客と動きを知る							
【使用教科書・教材・参考書】 □ シャンプー、リンス、タオル、シャンプークロス、ドライヤー、筆記用具、スタイリング剤				【授業外における学習】			
回		回	授 業 概 要				
1	【授業単元】バックシャンプー技術の目的 【授業形態】実習 【到達目標】 バックシャンプー技術の目的と意義を知る シャワーヘッドの扱い方 シャンプー技術に付随する用具類の扱いと接客	9	【授業単元】 ヘッドスパプロセスを習得 (美容技術理論 I 参照) 【授業形態】実習 【到達目標】小テスト5点 スカルプマニピレーションを取り入れたシャンプーを2施術する 相モデルでスタイリング				
2	【授業単元】 バックシャンプーリンス技術を習得 【授業形態】 実習 【到達目標】小テスト5点 バックシャンプーリンス技術を習得 タオルドライ、タオルターバンの手技を習得 ご案内の接客を学ぶ	10	【授業単元】 ハンドマッサージを学ぶ 【授業形態】実習 【到達目標】 ハンドマッサージを学ぶ シャンプーを20分前後で滞りなく、施術する				
3	【授業単元】 ファーストシャンプーの目的 【授業形態】 実習 【到達目標】 ファーストシャンプーの目的を知り、手技を習得する ファーストシャンプー、リンス、タオルドライの一連の動きを習得する ハンドドライ技術を学ぶ	11	【授業単元】 接客用語を正しく使う 【授業形態】 実習 【到達目標】 小テスト5点 ご案内からシャンプー施術、スタイリングを施術する 接客用語を正しく使う お客様のご要望に合わせた施術を行う				
4	【授業単元】 セカンドシャンプーの目的 【授業形態】 実習 【到達目標】 セカンドシャンプーの目的と意義を知る(ファーストシャンプーとの違い) セカンドシャンプーの技術を学ぶ ウィッグを使用しブロー基礎練習	12	【授業単元】アシスタント業務 【授業形態】 実習 【到達目標】 ワインディングのアシスタント業務を習得する タオルのたたみ方				
5	【授業単元】 フルシャンプーの手技習得 【授業形態】 実習 【到達目標】 フルシャンプーの手技習得 ドライヤーの扱いを知る 相モデルでドライイング～スタイリング技術を行う	13	【授業単元】アシスタント業務 【授業形態】 実習 【到達目標】小テスト5点 ウィッグにワインディングシアシスタント業務を行いながら パーマをかける				
6	【授業単元】 フルシャンプーの手技習得 【授業形態】 実習 【到達目標】小テスト5点 フルシャンプーの技術を滞りなく行えるようになる シャンプーの技術に伴う接客及び用語を学ぶ ドライイング技術の習得	14	【授業単元】シャンプー技術の向上 【授業形態】実習 【到達目標】 定期試験50点 相モデルでサロンワークを実施				
7	【授業単元】 中間試験 【授業形態】 実習 【到達目標】中間試験20点 お迎え⇒施術⇒お見送りを接客及び接客用語を用いスムーズに行う	15	【授業単元】 定期試験振り返り 【授業形態】 実習 【到達目標】小テスト5点 定期試験フィードバック				
8	【授業単元】 スカルプマニピレーション (美容技術理論 I 参照) 【授業形態】 実習 【到達目標】 フルシャンプーを20分前後で施術する スカルプマニピレーションの手技を学ぶ(教科書参照) 相モデルでスタイリング	【評価について】 小テストは実技試験で行い、6回で30点とする 中間テストは実技試験で行い、20点とする 定期テストは実技試験で行い、50点とする					
【特記事項】							